

# 経済政策の不確実性と銀行のキャピタル・バッファ調整スピードに関する 検証

ライ カレン カイ リン

一橋大学大学院商学研究科

## 要旨

本稿の目的は、経済政策の不確実性(Economic Policy Uncertainty)が日本の銀行のキャピタル・バッファ(Capital Buffer)に与える影響について実証的に分析することである。具体的には、経済政策の不確実性が銀行のキャピタル・バッファの調整スピードを速めるのか、あるいは低下させるのかを検証している。さらに、ターゲットとなるキャピタル・バッファに対する自己資本比率の乖離に対してどのように経済政策の不確実性が影響するかを検証している。本稿から得られる分析結果として、第一に、経済政策の不確実性と銀行のキャピタル・バッファには正の相関関係が認められ、このことより、経済政策の不確実性が高まると、銀行はキャピタル・バッファを積むことが示唆される。第二に、財政政策の不確実性、あるいは通商政策の不確実性と銀行のキャピタル・バッファには正の相関関係が認められる一方で、為替政策の不確実性には負の相関関係が認められた。経済政策の不確実性の内容によって銀行のキャピタル・バッファに与える影響が異なることが示唆される。そして第三の結果として、経済政策の不確実性が高まると、銀行のキャピタル・バッファの調整スピードを引き下げる影響が認められた。